

令和3年度第2回富里市産業振興推進会議議事録(書面会議)

- 1 書類発送日 令和3年8月30日(月)
- 2 協議期間 令和3年9月15日(水)まで
- 3 委員 小川加苗、秋元和子、寒郡茂樹、根本実、飯寄富雄、原幸司、田島晃一、延原利恵子、海宝敦、高橋益枝(敬称略)
- 4 アドバイザー 中山健(敬称略)
- 5 議題
 - (1)「富里市産業振興ビジョン年次報告」及び「富里市観光振興アクションプラン年次報告」令和2年度実績に係る事業評価シートについて
 - (2)「令和2年度富里市産業振興ビジョン意見書(案)」及び「令和2年度富里市観光振興アクションプラン意見書(案)」について
 - (3)「第二次富里市産業振興ビジョン(素案)」及び「第二次富里市産業振興ビジョン(素案の概要)」について
- 6 送付資料
 - 【資料1-1】産業振興ビジョン年次報告 令和2年度実績に係る意見書 推進委員とりまとめ
 - 【資料1-2】観光振興アクションプラン年次報告 令和2年度実績に係る意見書 推進委員とりまとめ
 - 【資料2-1】富里市産業振興ビジョン及び富里市観光振興アクションプランの令和2年度実績について
 - 【資料2-2】令和2年度富里市産業振興ビジョン意見書(案)
 - 【資料2-3】令和2年度富里市観光振興アクションプラン意見書(案)
 - 【資料3-1】第二次富里市産業振興ビジョン(素案)
 - 【資料3-2】第二次富里市産業振興ビジョン(素案の概要)
- 7 会議方法 会議の開催に代えて、書面による協議を実施。
各委員及びアドバイザーに対し、書面により協議する旨を案内し、協議内容の確認及び資料2の1~3、資料3-1についての意見の有無について意見回答様式により提出を依頼。
- 8 議事概要 【意見等】
 - (1)「富里市産業振興ビジョン年次報告」及び「富里市観光振興アクションプラン年次報告」令和2年度実績に係る事業評価シートについて【資料2-1】産業振興ビジョン年次報告 評価委員とりまとめ

- ・アドバイザー これまでの推進会議の内容を踏まえた総括内容となっており特に問題ないです。

【資料 2 - 2】

- ・ A 委員 数値での評価の方法は非常にわかりやすいと思います。
- ・ B 委員 やや不十分となっている件については、全体に発信力が不足していると思います。
- ・ C 委員 「基本戦略 2 商工業の振興」の「⑤商工業の活性化」について、経済の支援プラス、困っている事や、わからない事のアドバイス支援をもっと近い所で寄り添って欲しいです。
「基本戦略 3 人材の確保と育成」の「③職場体験学習の促進」について、年間の決まり事ではなく、もっと身近に感じてもらえるようにし、尚且つ、楽しみにしてもらえるイベントになる工夫が必要ではないでしょうか。
- ・ アドバイザー 「基本戦略 3 人材の確保と育成」に関しては、農業、商工業に共通した問題点として指摘されているが、富里市に限らず全国的な課題でもあるため、周辺の市の対応状況等も見据えつつ今後の検討課題であると言えます。職場体験や空港との関係は、コロナ禍の影響が大きい事が評価結果に表れています。コロナ後に備えた対策の策定に期待したいです。

【資料 2 - 3】

- ・ A 委員 コロナ禍での評価でしたが順調に推移していると感じます。
- ・ B 委員 新型コロナウイルス感染症の終息を願うばかりです。
- ・ C 委員 「基本戦略 2 新たな観光資源の創出」の「2) 富里ブランドの創造」の「①商品の開発」について、よく畑で規格外の人参が捨てられているのを見かけますが、今流行りのドライフードとして生まれ変えさせられないものでしょうか。レシピ次第で、血を増やし、血の巡りをよくし、コラーゲンの生成を助け、ビタミン B、C、カロテンが豊富です。紫外線、日焼け対策の自然食品として富里ブランドにいかがでしょうか。
- ・ アドバイザー 観光産業はコロナ禍の影響を大きく受けている業界であり、政策的な支援が難しい状況にありながら、全般に前回よりも委員の平均点数が上昇している点は高く評価できます。市が観光振興に力を入れてきた結果が表れています。

(3)「第二次富里市産業振興ビジョン(素案)」及び「第二次富里市産業振興ビジョン(素案の概要)」について

【資料3-1】

- ・D委員 第1次富里市産業振興ビジョンを継承しつつ、成田空港の機能強化、企業誘致、SDGs、農業の今後の課題など新たな視点が組み込まれているので、バランスよくまとまっていると思います。内容に異議はありません。素案文中にもありましたが、各課題において、1年先が見通せない程、世の中の変化が激しい中で、ピンポイントではなく継続的に現状を見極め、検証・改善していく事は、今までより重要だと思います。
- ・A委員 千葉県が土地利用の規制緩和等を含め、成田空港周辺地域における国家戦略特区についての提案を、令和3年1月15日に行いました。富里市の将来を考えると、この提案が実現する事は、大きな未来が拓けて行く事になるのではないのでしょうか。そこで特区の大きな柱である、土地利用の規制緩和、外国人材の活用、農業の振興に対しては、千葉県の基本的な考え方との連動を、どこかに謳うべきであると思います。特に農業の振興については、新生成田市場の開設が来年になる事から、農業の国際化、農業の6次化などを戦略的に考察すべきであると考えます。
- ・B委員 「2.現状と課題」の「2-3富里市の産業の課題」の「(2)商工業における課題」の「課題3 企業誘致」について、ライフラインの整備及び40年前から言っているが、市街化調整区域解除が必要であると思います。
- ・E委員 本ビジョンが1日も早く1つでも多く実行される事を願っています。
- ・C委員 人口を増やす目的として、富里にも団地の新設はできないのでしょうか。
- ・アドバイザー 今回の評価を受けてまたコロナの影響を最小限にすべく、経営の安定化、「富里すいか」を守る取り組み、人材不足対策、事業承継対策等に政策の重心を置く事が明確に示されています。
観光に関しても、地域特性を生かした観光地を形成するとと

もに観光人材を育成し、地域全体のブランド化を目指そうという意気込みが示されている点は評価されます。

成田空港との関係についても、空港周辺市としての政策を積極的に推進していく事により共存共栄を図るという方向性が明確にわかりやすく示されています。